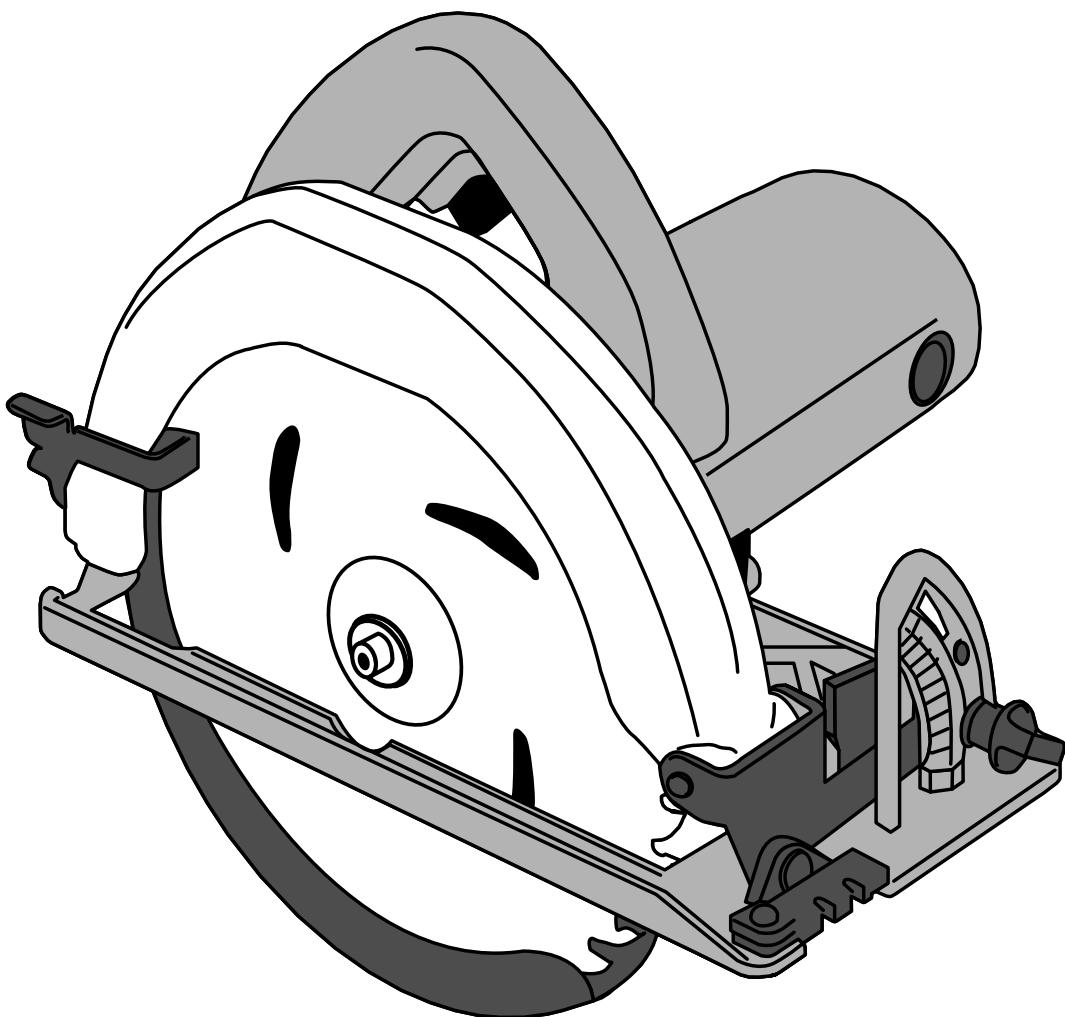


E·Value

EWC-190A

電気丸鋸

取扱説明書



このたびは **E·Value** 電気丸鋸をお買上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。

お読みになったあとは必ず保存してください。

目 次

1. 安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと ——— P.1~3
2. 電気丸鋸ご使用前の確認とご注意 ——— P.4
3. 電気丸鋸ご使用上の注意 ——— P.4
4. 部品の名称 ——— P.5
5. 付属品の明細 ——— P.5
6. 延長コードのご使用について ——— P.5
7. 仕様明細 ——— P.6
8. 鋸刃の取り付け・取りはずし方法について ——— P.6
9. ご使用方法 ——— P.7~9
 - 切り込み深さの調整 P.7
 - 傾斜角度の調整 P.7
 - 切断位置ガイド P.7
 - スイッチの操作 P.8
 - 切断方法 P.8
 - 平行定規の使い方 P.9
10. 保守、点検について ——— P.9

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「△警告」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「△警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管してください。
- 注** 本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

△ 警告

1. 作業をする時の服装について

- 電動工具を使用するときは、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけてください。屋外作業をするときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
 - ・ 作業中、本機工具（磁石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないでください。
 - ・ 作業中回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用してください。

2. 作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業するようにしてください。
 - ・ ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにしてください。
 - ・ 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具モーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
 - ・ 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業者以外は近づけないでください。又、作業者以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないでください。
 - ・ 作業場の近くに作業者以外の人がいたり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の恐れがあり大変危険です。

警告

3.電気について

- 使用電源は銘柄で表示してある電圧でご使用ください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったり、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認ください。2重絶縁品を除き必ずアースを接地してください。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本気のスイッチを切ってください。
 - ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本気に損傷がないか、正常に作業するか、工具（磁石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼してください。
 - ・ ネジがゆるんでいたり工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の作業の時は開始前に1分以上回転させてください。
 - ・ 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業台の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
 - ・ 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
 - ・ スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気が付いたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
 - ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりではなく大変危険です。コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。
 - 又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないよう注意してください。
 - コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
 - ・ 工具（スパナ・ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
 - ・ 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
 - 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされ思わぬ事故の原因となります。
 - 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
 - ・ 安全に能率よく作業をするために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
 - ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5.手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
 - ・ 使用後汚れたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
 - ・ 切れ味が悪いと仕上がり面が悪くなるばかりでなく、モートルに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
 - ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

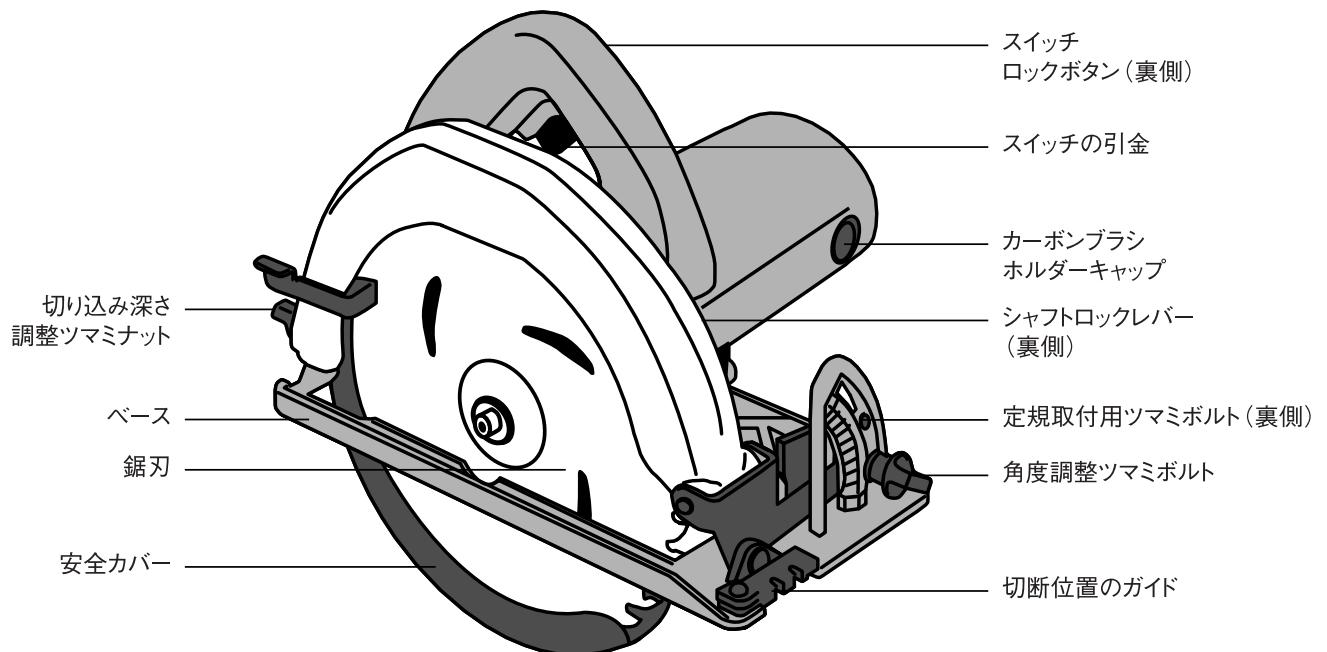
電気丸鋸ご使用前の確認とご注意

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用しますと、回転が異常になり危険だけがの原因になります。
- 鋸刃や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。特に鋸刃止めネジ、他のネジが確実に締まっているかをご確認し、ゆるんでいるような場合は、強く締め付けてください。確実に締め付けてなければ、はずれたりしてけがの原因となります。
- 鋸刃、その他にヒビ割れ等の異常がないことを確認してください。万一ヒビ割れ等がありましたら、新しいものに交換してからご使用ください。
- 鋸刃は銘板に表示してある直径190mm以内の範囲内でご使用ください。
- ご使用前に安全カバーがスムーズに動くことをご確認ください。又、安全カバーを固定して使用することは絶対にしないでください。固定した使用は事故のもとになります。
- 作業前に人のいない方向に鋸刃を向けて空転させ、本機の振動や鋸刃の面振れ等の異常がないかをご確認ください。異常のままご使用になりますとけがの原因となります。

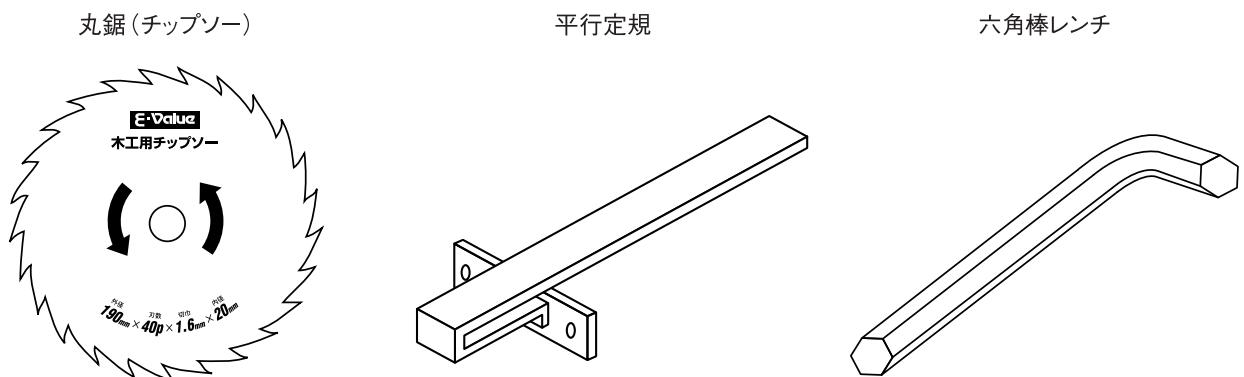
電気丸鋸ご使用上の注意

- 切断する材料の中に異物（釘等）がないか、材料の下に障害物がないかをご確認ください。異物や障害物があると、刃こぼれだけでなく、けがの原因になります。
- 本機のスイッチをはなすと、ブレーキが働いて回転が急停止します。
注）反発力で機体を落としますとけがの原因となります。
ブレーキが作動したとき火花が発生しますが故障ではありません。切断する材料の回りに他の道具やコード線を近づけないでください。鋸刃で手を切ったり、コードを切断して感電の恐れがあります。
- 本機を万力などで固定して使用したり、回転させたまま放置しないでください。
- 高いところで作業をするときは、下に人がいないか確認してください。又、コードを引っかけて本機を落下させますと故障やけがの原因ともなります。
- 切断する材料は安定性のよい台の上に置いてください。安定性が悪い場合は必ず固定して切断するようにしてください。不安定のまま使用しますとけがのものとになります。
- 切断中に鋸刃が切断する材料にはさまれないように台の位置を決めてください。台は切断する位置に近いところがより安全です。
- 切断するとき鋸刃がはさまれると、正常に回転しません。又、はさまれて回転が停止するとモーターの焼損につながります。
- 切り落としが大きいとき鋸刃がはさまれたり、切断する材料が割れたりしますので、切り落とし側にも台を設けてください。
注）切り落とし側の台が高かったり低かったりしますと安全な切断ができません。
- 同じ高さの台を用意してください。又、切り落とし材料が鋸刃に接触して飛散することを防止するため、鋸刃の露出をより低くしてください。
- 使用中は本機を確実に保持してください。振れますと正確な切断ができません。
- 使用中、本機の調子が悪いとき、異常が発生したときは、直ちにスイッチを切り、使用を中止してください。本機を点検し、異常がありましたら、販売店に修理を依頼してください。

部品の名称



付属品の明細



延長コードのご使用について

- 電源が離れていて延長コードを使用するときは、本機を最高の能率でご使用いただくために十分な太さのコードができるだけ短くご使用ください。
- 使用するコードの太さ(公称導体断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1.25mm ²	10m
2.0mm ²	20m

仕様明細

形式名	EWC-190A
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相100V
周波数	50/60Hz
消費電力	1050W
電流	11A
無負荷回転数	4700min ⁻¹
鋸刃の寸法	外径190×内径20mm
最大切り込み深さ	67mm(90°)/43mm(45°)
斜切断	0~45°
寸法	約280×230×180mm
重量	約3.7kg

※改良のため機能、形状等を変更することがあります。

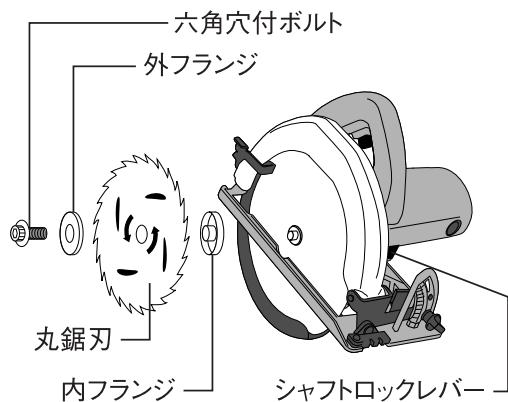
⚠ 警告

- 鋸刃の取り付け、取りはずしの際は必ず本機のスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
- 鋸刃の取り扱いには十分注意し、手や指を切らないようにしてください。

鋸刃の取り付け・取りはずし方法について

■鋸刃の取りはずし方法

- ①シャフトロックレバーを押し込んで、シャフトを固定してください。
- ②六角棒レンチ(5mm)を使用して、ノコ刃を取り付けている六角穴付ボルトを左に回して(ノコ刃の回転方向)外してください。
- ③外フランジを外して、安全カバーをいっぱいに引き上げた状態でノコ刃を取り外してください。

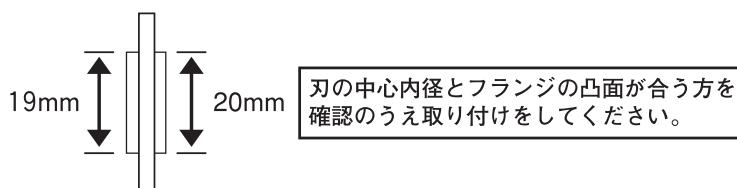


■鋸刃の取り付け方法

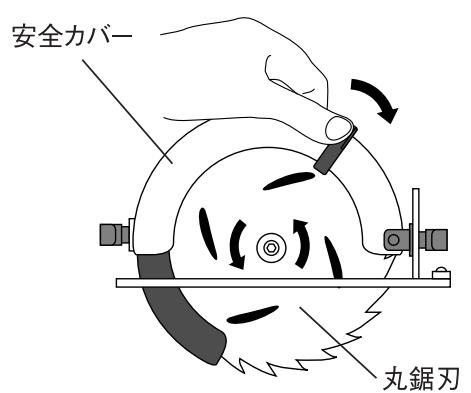
- 取り付ける時は、取り外す時の逆の要領で行ってください。

- ①内フランジを軸に取り付けてください。

注 内フランジは裏表でそれぞれ中心内径の異なる刃に対応できるようになっています(内径19mmと20mm)



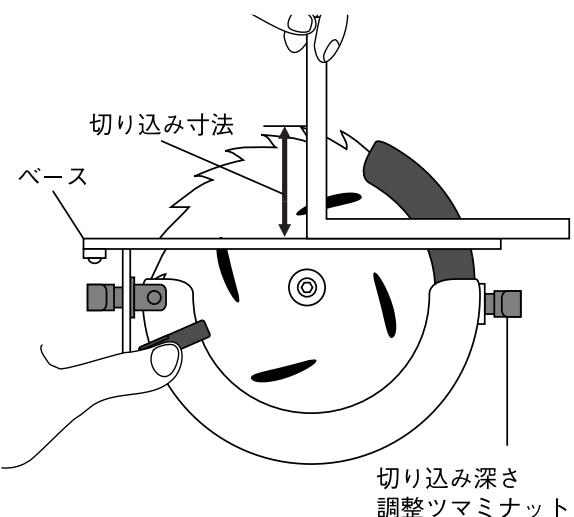
- ②安全カバーをいっぱいまで引き上げてください。
- ③その状態で鋸刃を内フランジに取り付けてください。
- 注 鋸刃についている回転方向の矢印と本機カバーについている回転方向を合わせてください。
- ④外フランジを取り付けてください。
- ⑤六角穴付ボルトをしっかりと締め付けてください。
- ⑥シャフトロックレバー、安全カバーを元に戻し、鋸刃が正常に回転することを確認してください。



ご使用方法

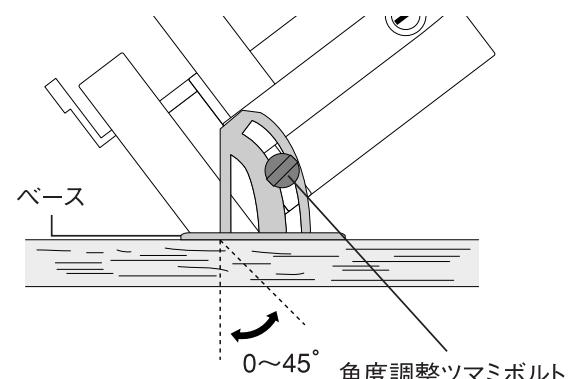
■切り込み深さの調整

- ① 切り込み深さ調整ツマミナットをゆるめますと、ベースを上下に移動させることができます。
 - ② お望みの切り込み深さに位置を決め、切り込み深さ調整ツマミナットをしっかりと締め付けてください。
 - ③ 切り込み深さ寸法は、ベース面から出ている鋸刃の寸法を測って決めます。
- 注** 材料の厚みが薄い時は、切り込み深さを浅くしてご使用ください。



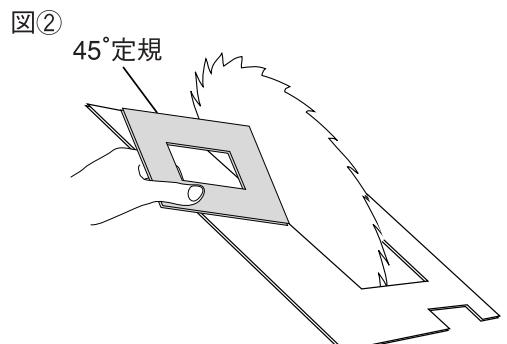
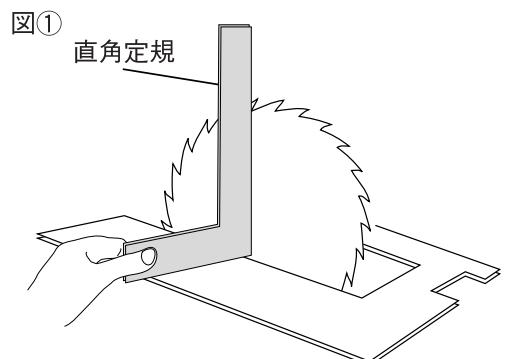
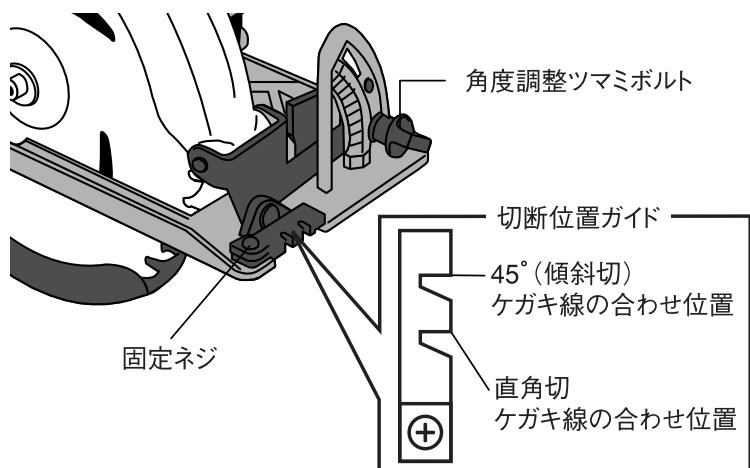
■傾斜角度の調整

- ① 角度調整ツマミボルト（本機前後2ヶ所あります）を緩めてお望みの角度に合わせてしっかりと締め付けてください。
 - ② 角度は $0\sim45^\circ$ の間で調整出来ます。
- 注** 正確に角度を出したい時は直角定規や 45° 定規などを当てて調整してください。
(図①・図②参照)



■切断位置ガイド

- ① 直角切断（傾斜 0° ）をする時は、本機を上から見て右側の溝の左端にケガキ線を合わせてください。
- ② 45° 傾斜切断をする時は本機を上から見て左側の溝の左端にケガキ線を合わせてください。
- ③ 工場出荷時に切断位置ガイドは調整していますが、ケガキ線とズレていましたら固定ネジを緩めて調整してください。（左右に動かせます）

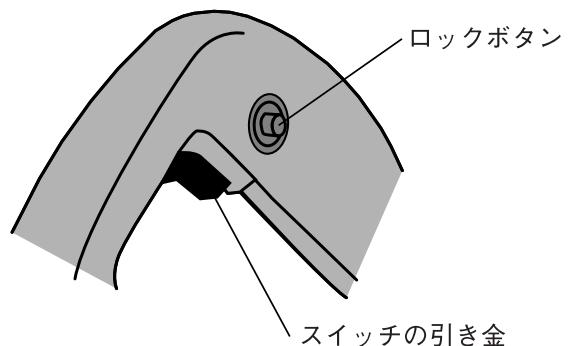


■スイッチの操作

⚠ 警告

プラグを電源に差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。スイッチを入れたままプラグを差し込みますと、急に動きだし事故の原因となります。

- ① スイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。
- ② スイッチの引金を引きながらロックボタンを押し込むと引金を離しても引金は固定され、連続回転します。停止させるときは、もう一度引金を引いてください。ロックボタンが解除され、回転が止まります。

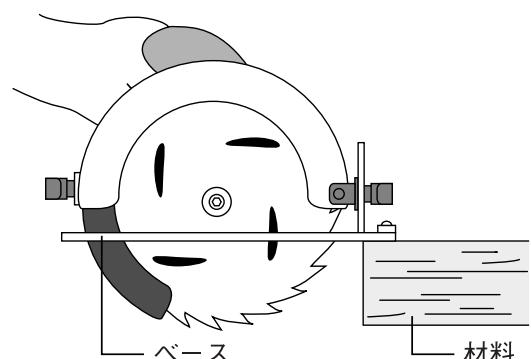


⚠ 注意

- 本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかります。ブレーキがかかりますと反発力が発生しますので、しっかり保持してください。
- ご使用前に安全カバーがスムーズに動くことをご確認ください。又、安全カバーを固定して使用することは絶対にしないでください。固定しての使用は事故のもとになります。
- 切断中は鋸刃をこじったり、押しすぎないようにしてください。モーターに無理がかかるばかりでなく、反発力が生じ、けがの原因になります。

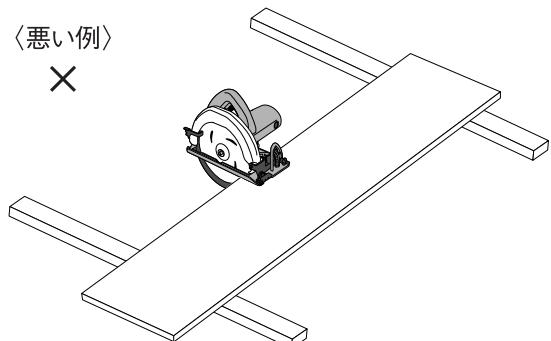
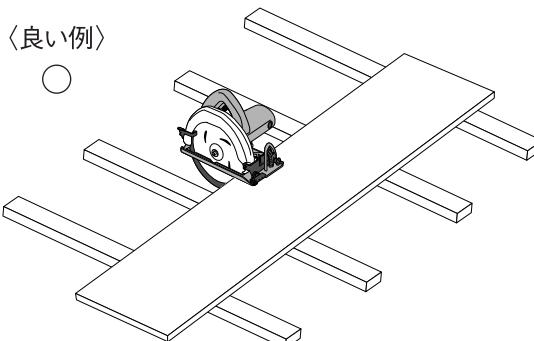
■切断方法

- ① 材料の上にベース面をのせ、鋸刃が材料に触れない状態でスイッチを入れてください。
- ② 鋸刃の回転が上がり、一定の回転になりましたら、ベース面を材料に密着させ、静かに前方へ押し進め切断してください。
- ③ 切断面を--様にするには、一定の速さを保ち、材料の質に合った送り速度で切断してください。



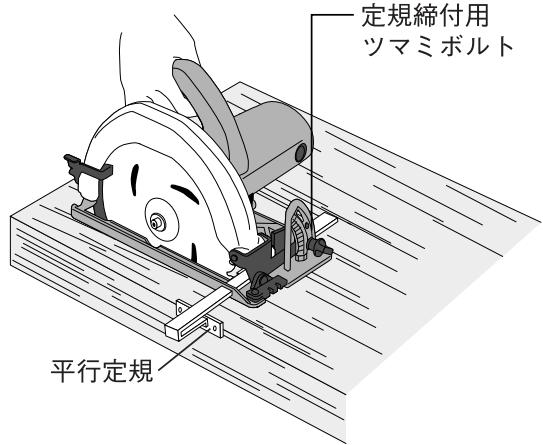
* 切り落としが大きい時鋸刃が挟まれ大変危険ですし、モーターの焼損の恐れがあります。また加工する材料が割れたりしますので、切り落とし側にも必ず支えの台を設けてください。

- 切断中に鋸刃が切断する材料に挟まれないように、支えの台は切断位置に近いところがより安全です。



■平行定規の使い方

- 同じ幅でまっすぐ切断するときは、平行定規をご使用ください。
- 平行定規を取り付けるときは、定規取付用ツマミボルトをゆるめて定規をベースの定規用溝穴へ差し込み、ツマミボルトをしっかりと締めつけてください。



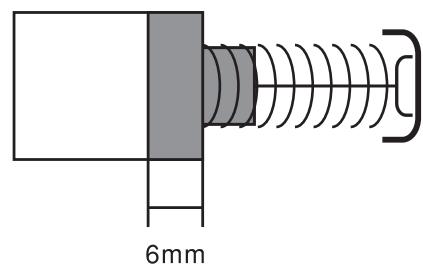
■保守、点検について

注 点検、整備のときは必ずスイッチを切り、
プラグを電源から抜いてください。

■カーボンブラシの交換

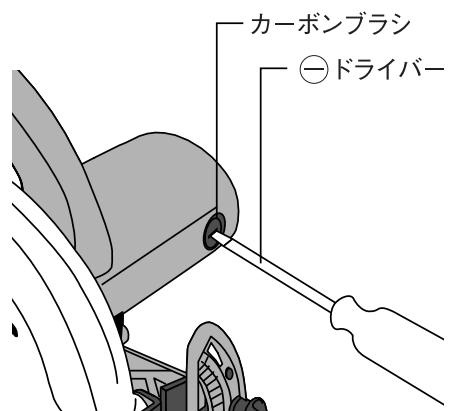
- カーボンブラシは時々取りはずして点検をしてください。
 - カーボンブラシが6mm位に摩耗しましたら新品と交換してください。
- 注** 短くなったカーボンブラシをそのまま使用しますと、火花が大きくなり、モーターの焼損の原因となる場合があります。カーボンブラシキャップを（-）ドライバーで回して取りはずし新品と交換してください。
- カーボンブラシは左右2コで1セットです。交換のときは指定のカーボンを使用して、2コとも交換してください。

11×5×(長さ15mm)



■修理について

- 本機が正常に作動しなくなった場合は、お買い上げの販売店にご用命ください。



保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	電気丸鋸 EWC-190A	お買上げ日	保証期間
		平成 年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒	
	ご芳名		
	電話	()	
販売店	住所 店名		☎ ()

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (二) 本書の提示がない場合。
 - (ホ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元



藤原産業株式会社

兵庫県三木市福井2115-1 TEL. 0794-86-8200(代)

訂正の御詫び

このたびは、弊社商品E-Value電気丸鋸EWC-190Aをお買い上げいただき誠に有難うございます。

お客様に訂正のお詫びがございます。

化粧箱と取り扱い説明書に記載してあります、本機の最大切斷厚みの表記が 誤っておりました。

大変申し訳ございません。

訂正は下記の通りです。

(誤り) 45°切斷時・・・45mm切斷 (×)

(正解) 45°切斷時・・・**43mm切斷** (○)

何卒御了承いただきますようお願い致します。

藤原産業株式会社